

2025年 百里初午祭 アピール

昨年、私たちは自衛隊百里基地の誘導路を「く」の字に曲げさせているここ百里平和公園に「9条の碑」を建立しました。建立には、130団体、931名からの賛同があり、碑の表側には日本国憲法の前文と9条、裏側の碑文には「自衛隊は憲法違反 一百里農民の信念を引き継ぐ」が刻まれました。私たちはこの地に建立した碑文の思いを忘れず、次世代へと繋いでいく必要があります。

さて、岸田政権を継承した石破政権は、昨年の衆院選で大敗し、与党の自公勢力は過半数割れとなりました。少数与党国会の中で、岸田政権が強行してきた43兆円の巨大化した軍事費の削減を求めるなど、「戦争する国づくり」を進める石破政権と対決しなければなりません。

また、トランプ政権の求めに応じる「日米同盟の強化」は、戦争するための軍事一体化であり、これを許すことはできません。

百里基地では、2022年以降、オーストラリア、ドイツ、インド、カナダ、フランス空軍との合同訓練実施、日米共同演習も強化、さらには自衛隊の「戦闘機昼夜連続訓練」も実施されています。これら憲法違反の軍事訓練の増加と基地周辺住民の暮らしを破壊する爆音被害に引き続き、反対の取り組みを強めます。

茨城空港は「軍民共用」の空港として、2010年3月11日に開港しました。開港に伴い整備した新滑走路は、完成後に自衛隊百里基地に移管し、民間機の離発着は自衛隊の百里基地がコントロールしています。

茨城空港は、「儲からない空港」であり、毎年10億円以上の県税が空港維持費に使われています。しかし、国土交通省と茨城県は「1時間1着陸枠」の見直しを進めるとして、茨城県営業戦略部空港対策課（茨城空港利用促進等協議会）が昨年8月に「茨城空港のあり方検討委員会」を設置し、「茨城空港の機能強化（案）」を取りまとめました。その中で新たに「平行誘導路」を建設する計画が明らかになりました。「平行誘導路」を建設する場所には、「一坪運動」の民有地で、「自衛隊は憲法違反」の大看板がある旧射爆山も含まれています。しかも、建設した新誘導路は自衛隊基地に移管されます。

百里基地反対連絡協議会は、1月15日の役員会で、「新平行誘導路」の建設は、自衛隊基地の拡張建設であり、軍事基地の機能強化につながることを確認しました。そして、「新誘導路」建設に反対の意思表示をしていくことを決定しました。

本日、百里初午祭に集まった私たちは、石破政権の戦争する国づくりへの強行に反対し、憲法9条を守る取り組みを強めます。そして、百里基地の拡張工事である「新平行誘導路」の建設に反対し、「一坪運動」の土地を守っていくために力を合わせて闘っていきます。以上アピールします。

2025年2月11日

百里初午祭 参加者一同